



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田堂 哲志
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 持田 由希子 (TEL) 06-6455-9140
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績 (平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	471,078	4.0	50,810	△10.0	55,993	△4.7	26,514	5.1
29年12月期第3四半期	452,772	—	56,467	—	58,731	—	25,236	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 28,445百万円(△31.3%) 29年12月期第3四半期 41,376百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	82.68	82.66
29年12月期第3四半期	78.69	78.68

当社は、平成28年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成28年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	917,771	632,029	55.4
29年12月期	920,591	629,408	54.8

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 508,376百万円 29年12月期 504,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
30年12月期	—	22.00	—		
30年12月期(予想)				23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	615,000	1.6	63,000	△16.0	69,000	△10.2	31,000	△16.5	96.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	325,402,443株	29年12月期	325,402,443株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	4,700,978株	29年12月期	4,700,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	320,701,656株	29年12月期3Q	320,703,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の対象期間は、平成30年1月から9月までの9ヶ月間です。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は4,710億78百万円（前年同期比4.0%増）となりました。連結営業利益は原材料価格上昇の影響などにより508億10百万円（前年同期比10.0%減）となりました。連結経常利益は中国で環境規制に伴う工場退去の補助金収入などがあつたものの、連結営業利益減少に伴い559億93百万円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結経常利益減少の影響があつたものの、寝屋川事業所閉鎖による土地売却などの固定資産売却益を計上したこともあり265億14百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

《日本》

当地域では、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数が前年同期をわずかながら下回るなか、高意匠・高付加価値塗料の出荷が好調に推移したことや、市場シェア拡大に努めたことなどから、前年同期を上回りました。工業用塗料の売上高については、建材向け塗料の出荷が市況の影響を受け伸び悩んだことなどから、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高については、市況が低調に推移するなか、新製品投入等によりリテール領域の市場シェア拡大に努めたことなどから前年同期をわずかながら上回りました。また、その他塗料の売上高については、船舶用塗料における市況低迷や、前年同期に大型塗装設備工事の売上を計上したことから、前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は1,301億49百万円（前年同期比0.5%減）となりました。また、連結営業利益は、原材料価格上昇や販売管理費増加の影響などにより339億23百万円（前年同期比3.8%減）となりました。連結営業利益には海外グループ会社からの受取配当金140億12百万円（前年同期は125億43百万円）が含まれております。なお、この受取配当金は内部取引として、全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去されます。

《アジア》

当地域では、中核地域である中国において、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数が前年同期をわずかながら上回るなか、中国系顧客向けの事業拡大に加え、日系や韓国系顧客の生産が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、住宅投資規制の強化により、不動産市況が低調に推移するなか、建築外装用塗料を主力とする領域において重点顧客への売上が拡大したことなどから、前年同期を上回りました。工業用塗料の売上高については、建材向け塗料などの出荷が市況の影響を受け伸び悩んだことなどから、前年同期を下回りました。

中国以外のアジア地域では、自動車用塗料の売上高については、タイで自動車生産台数が増加したことなどから、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、シンガポールやベトナム、マレーシアにおいて好調に推移しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は2,739億58百万円（前年同期比4.8%増）、連結営業利益は原材料価格上昇の影響などにより、281億73百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

《米州》

当地域では、中核地域であるアメリカにおいて、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数が前年同期並みで推移するなか、日系顧客の生産台数減少に加え、為替変動の影響を受けたことにより、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高については、前年3月に建築用塗料メーカーのDUNN-EDWARDS CORPORATION（以下、DE社）を連結子会社としたことから、前年同期を上回りました（前年同期は7ヶ月分のみ計上）。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は566億83百万円（前年同期比12.9%増）、連結営業利益は28億48百万円（前年同期比3.0%増）となりました。なお、前年同期はDE社取得時の関連費用を計上しております。

《その他》

当地域では、自動車用塗料について、域内における自動車生産台数が前年同期を下回るなか、日系や仏系顧客への出荷が好調に推移したものの、連結売上高は102億86百万円（前年同期比1.0%減）、連結営業利益は原材料価格の上昇やプロダクトミックス悪化の影響などにより2億27百万円の営業損失（前年同期は3億22百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して28億20百万円減少し、9,177億71百万円となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して117億82百万円増加しておりますが、主な要因は、有価証券が減少した一方で、現金及び預金や売上債権が増加したことなどによるものです。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して146億2百万円減少しております。主な要因は、償却に伴う商標権やのれんの減少、株価の下落による投資有価証券の減少などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して54億40百万円減少し、2,857億41百万円となりましたが、主な要因は、借入金や繰延税金負債の減少などによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して26億20百万円増加し、6,320億29百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定、非支配株主持分が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高については、中国において、投資を目的とした住宅購入制限などの規制の強化により、新築住宅市場の成長が当初の想定以上に鈍化した影響を受け、主力の住宅内装用事業は、市場成長は上回るものの、予想を下回る見通しです。また、その他の各地域においても予想には届かない見込みです。営業利益については、売上高の予想未達と世界的な原材料価格上昇の影響を受け、予想を下回る見通しです。

このような状況を鑑み、下記の通り通期連結業績予想を修正いたします。

平成30年12月期 通期連結業績予想数値の修正（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	650,000	78,000	82,000	35,500	110.69
今回修正予想(B)	615,000	63,000	69,000	31,000	96.66
増減額(B-A)	△35,000	△15,000	△13,000	△4,500	
増減率(%)	△5.4	△19.2	△15.9	△12.7	

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,007	119,294
受取手形及び売掛金	153,922	165,959
電子記録債権	15,402	16,185
有価証券	37,477	25,054
たな卸資産	68,406	68,565
繰延税金資産	7,278	7,308
その他	20,800	17,203
貸倒引当金	△4,394	△5,889
流動資産合計	401,900	413,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,029	64,270
その他(純額)	78,850	81,538
有形固定資産合計	142,880	145,808
無形固定資産		
のれん	197,051	187,625
商標権	61,870	59,368
その他	54,295	52,104
無形固定資産合計	313,216	299,099
投資その他の資産		
投資有価証券	57,619	54,170
繰延税金資産	1,143	890
その他	3,912	4,160
貸倒引当金	△82	△41
投資その他の資産合計	62,593	59,179
固定資産合計	518,690	504,088
資産合計	920,591	917,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,940	79,966
電子記録債務	22,380	21,759
短期借入金	25,354	27,427
未払法人税等	6,046	4,906
製品補償引当金	2,340	312
その他	63,150	73,868
流動負債合計	199,212	208,241
固定負債		
長期借入金	31,741	21,905
繰延税金負債	33,337	31,706
役員退職慰労引当金	191	187
環境対策引当金	264	301
退職給付に係る負債	17,398	16,539
その他	9,037	6,861
固定負債合計	91,970	77,500
負債合計	291,182	285,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	63,262	63,229
利益剰余金	385,369	397,773
自己株式	△6,454	△6,458
株主資本合計	521,040	533,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,068	10,368
為替換算調整勘定	△25,387	△32,660
退職給付に係る調整累計額	△3,384	△2,738
その他の包括利益累計額合計	△16,703	△25,030
新株予約権	136	179
非支配株主持分	124,934	123,474
純資産合計	629,408	632,029
負債純資産合計	920,591	917,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	452,772	471,078
売上原価	268,090	287,247
売上総利益	184,682	183,831
販売費及び一般管理費	128,214	133,020
営業利益	56,467	50,810
営業外収益		
受取利息	857	839
受取配当金	583	655
持分法による投資利益	847	837
補助金収入	471	3,511
その他	2,119	2,411
営業外収益合計	4,879	8,256
営業外費用		
支払利息	838	939
為替差損	1,052	1,193
その他	723	941
営業外費用合計	2,615	3,074
経常利益	58,731	55,993
特別利益		
固定資産売却益	35	4,136
その他	4	109
特別利益合計	40	4,245
特別損失		
固定資産除売却損	505	569
その他	28	15
特別損失合計	533	585
税金等調整前四半期純利益	58,238	59,653
法人税等	17,690	17,899
四半期純利益	40,547	41,753
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,310	15,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,236	26,514

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	40,547	41,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249	△1,788
為替換算調整勘定	△1,246	△11,389
退職給付に係る調整額	1,694	630
持分法適用会社に対する持分相当額	131	△760
その他の包括利益合計	828	△13,308
四半期包括利益	41,376	28,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,579	18,186
非支配株主に係る四半期包括利益	15,796	10,258

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	130,828	261,327	50,221	442,378	10,394	452,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,333	3,870	119	32,322	655	32,978
計	159,162	265,197	50,340	474,701	11,049	485,750
セグメント利益	35,273	30,577	2,766	68,618	322	68,941

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	68,618
「その他」の区分の利益	322
セグメント間取引消去その他の調整額	△12,473
四半期連結損益計算書の営業利益	56,467

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	438,687	—
自動車用	109,219	—
汎用	233,076	—
工業用	55,228	—
その他塗料	41,163	—
ファインケミカル	14,084	—
合計	452,772	—

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前連結会計年度において、決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、当第3四半期連結累計期間は比較対象期間が異なることから、対前年同期比については記載しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	130,149	273,958	56,683	460,792	10,286	471,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,891	2,816	175	32,882	555	33,438
計	160,040	276,775	56,859	493,674	10,841	504,516
セグメント利益又は損失(△)	33,923	28,173	2,848	64,945	△227	64,717

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	64,945
「その他」の区分の損失(△)	△227
セグメント間取引消去その他の調整額	△13,907
四半期連結損益計算書の営業利益	50,810

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	456,597	4.1
自動車用	119,041	9.0
汎用	245,307	5.2
工業用	51,304	△7.1
その他塗料	40,944	△0.5
ファインケミカル	14,481	2.8
合計	471,078	4.0

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。